

# タブレットでスピーチ練り上げ ～自分の小学校生活での変容～

教科	国語	単元名	今、私は、ぼくは
----	----	-----	----------

## 本時のねらい

- 資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫することができる。
- 資料を活用して自分の考えを表現することに意欲的に取り組み、聞き手の知識や反応等に応じてより効果的なスピーチしようとする。

## 本時における1人1台端末の活用方法とそのねらい

- 1人1台タブレットを用いることで、自分のスピーチの様子を録画したのを見て振り返る。
- タブレットの授業支援ソフト（Keynote）を用いることで、資料を作成し、動画や振り返りを提出する。

## 活用したICT機器・デジタル教材・コンテンツ等

- タブレット PC
- 電子黒板
- 授業支援ソフト（ロイノート）
- 授業支援ソフト（Keynote）

## 本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT活用のポイント・工夫
導入 (5分)	○単元の目標、めあての確認をする。 「スピーチの練習をして、内容を修正し、よりよいスピーチをめざそう」	
展開 (分)	○グループで練習をする。 ・資料の説明のところに力を入れてけど、どうかなあ？ ・声を大きくして、相手の方を向いて話した方がいいよ。 ○スピーチの修正を行う。 ・資料をもっとわかりやすく作り直そう。 ・確かに動画で聞いても声が聞こえにくいなあ。 ○グループで練習をする。 ・資料の説明のところを変えてみたけど、どうかなあ？ ・声が大きくなって、相手の方を向いて話してよかったと思う。	・時間を意識して練習をさせるため、電子黒板にタイマーを表示する。 ・自分のスピーチの動画を撮ってもらい、後で客観的に自分のスピーチを見返せるようにする。 ・録画した動画を見ながら他の児童からアドバイスやコメントをもらい、修正するときに役立てる。 ・2回のスピーチを録画し、授業内での自分の成長がわかるようにする。
まとめ (5分)	○次の時間の見通しをもたせ、振り返りを提出する。 ・うまく資料の修正ができてよかった。 ・本番でも声を大きくして、相手に伝わるように頑張りたい。	・「ロイノート」で2本の動画と振り返りを提出させる。

## 1人1台端末を活用した活動の様子



写真1：グループで練習している様子



写真2：スピーチの修正を行っている様子

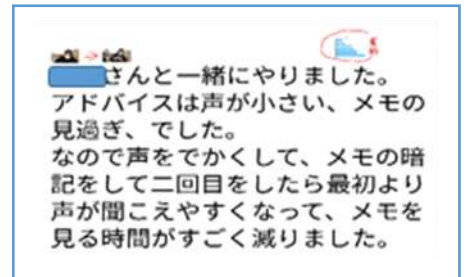


写真3：児童が提出した成果物

## 児童生徒の反応や変容

- 「1本目の動画ではメモを見ている時間が少し長く、次の文章を考えるだけで精一杯な様子だったが、2本目の動画では少し余裕ができて、前を見ている時間が増えたように思う。」「少しメモを見すぎているので、メモの内容を少し覚えて話すようにした。声を大きくした方がいいとアドバイスをもらった。」「1回目より2回目の方が資料がわかりやすくなったと思う。自分でもうちょっと声を大きくした方がいいなと思った。」などの感想があった。

## 授業者の声～参考にしてほしいポイント～

よりよいスピーチをめざすために、客観的に自分のスピーチを見て判断することが大切だと考え、動画を撮らせた。動画を撮ることで、緊張感をもってスピーチ練習を行うことができ、本番を意識させることができた。資料を「Keynote」でつくらせることで、自分の伝えたいことに沿った資料を準備することができた。しかし、つくらせたものが資料としてふさわしいかどうかの判断は必要であると感じた。机間指導では全員の進捗を見とることが難しいため、「ロイノート」で振り返りと動画を提出させたが、教員が全員分の変容を見とることができ、非常に効果的だった。